

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公表番号】特表2008-521663(P2008-521663A)

【公表日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2007-544589(P2007-544589)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/30 (2006.01)**

【F I】

B 3 2 B 27/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) スチレン/ブタジエン/スチレンブロックコポリマーを含む内層であって、第 1 の面及び第 2 の面を含む前記内層；および

b) 各々がオレフィンポリマーを含む第 1 および第 2 外層であって、オレフィンポリマーがエチレン/オレフィンコポリマー、エチレン/アクリル酸アルキルコポリマー、エチレン/アクリル酸コポリマー、ブチレンホモポリマーおよびブチレンコポリマー、多成分エチレン/オレフィン相互侵入網目樹脂、高密度ポリエチレン、高密度ポリエチレンとエチレン/酢酸ビニルコポリマーとの混合物、および高密度ポリエチレンと低密度ポリエチレンとの混合物からなる群より選択される前記第 1 および第 2 外層；

を含む共押出 3 層固相延伸熱収縮性フィルムであって、

i) 縦方向および横方向の少なくとも 1 つにおける 240 ° F での 40 % から 80 % の自由収縮率 (ASTM D 2732)；および

ii) 縦方向および横方向の少なくとも 1 つにおける 70 g / mil から 300 g / mil のエルメンドルフ引裂強さ (ASTM D 1922 - 03)；

を有し、

前記第 1 外層は前記内層の前記第 1 の面に直接付着し、

前記第 2 外層は前記内層の前記第 2 の面に直接付着し、

スチレン/ブタジエン/スチレンブロックコポリマーを含む前記内層はフィルム全厚の 1 % から 15 % を占める前記フィルム。

【請求項 2】

a) スチレン/ブタジエン/スチレンブロックコポリマーを含む内層；

b) 4.0 未満のメルトインデックスを有するエチレンコポリマーを各々が含む第 1 および第 2 中間層であって、4.0 未満のメルトインデックスを有する前記エチレンコポリマーは 0.916 g / cm<sup>3</sup> 未満の密度を有するエチレン/オレフィンコポリマー、エチレン/酢酸ビニルコポリマー、エチレン/プロピレン/ジエンターポリマー、非常に低い密度のポリエチレン、非常に低い密度のポリエチレンとエチレン/酢酸ビニルコポリマーとの混合物、および多成分エチレン/オレフィン相互侵入網目樹脂からなる群より選択される前記第 1 および第 2 中間層；および

c) 各々がオレフィンポリマーを含む第 1 および第 2 外層

を含む共押出多層固相延伸熱収縮性フィルムであって、

i) 縦方向および横方向の少なくとも1つにおける240°Fでの40%から80%の自由収縮率 (ASTM D 2732) ; および

ii) 縦方向および横方向の少なくとも1つにおける70 g / milから300 g / milのエルメンドルフ引裂強さ (ASTM D 1922 - 03) ;

を有し、

スチレン / ブタジエン / スチレンブロックコポリマーを含む前記内層はフィルム全厚の1から15%を占める前記フィルム。

【請求項3】

a) 4.0未満のメルトインデックスを有するエチレンコポリマーを含む内層であって、4.0未満のメルトインデックスを有する前記エチレンコポリマーは0.916 g / cm<sup>3</sup>未満の密度を有するエチレン / - オレフィンコポリマー、エチレン / 酢酸ビニルコポリマー、エチレン / プロピレン / ジエンターポリマー、非常に低い密度のポリエチレン、非常に低い密度のポリエチレンとエチレン / 酢酸ビニルコポリマーとの混合物、および多成分エチレン / - オレフィン相互侵入網目樹脂からなる群より選択される前記内層 ;

b) 各々がスチレン / ブタジエン / スチレンブロックコポリマーを含む第1および第2中間層 ; および

c) 各々がオレフィンポリマーを含む第1および第2外層 ;

を含む共押出多層固相延伸熱収縮性フィルムであって、

i) 縦方向および横方向の少なくとも1つにおける240°Fでの40%から80%の自由収縮率 (ASTM D 2732) ; および

ii) 縦方向および横方向の少なくとも1つにおける70 g / milから300 g / milのエルメンドルフ引裂強さ (ASTM D 1922 - 03) ;

を有し、

スチレン / ブタジエン / スチレンブロックコポリマーを含む前記第1および第2中間層は合わせてフィルム全厚の1から15%を占める前記フィルム。

【請求項4】

スチレン / ブタジエン / スチレンブロックコポリマーが、200 / 5.00 kgで2から12 g / 10分のメルトマスフローインデックスを有する、請求項1から3のいずれか1項に記載のフィルム。

【請求項5】

スチレン / ブタジエン / スチレンブロックコポリマーを含む層が、フィルム全厚の5から15%を占める、請求項1から3のいずれか1項に記載のフィルム。

【請求項6】

スチレン / ブタジエン / スチレンブロックコポリマーが、コポリマーの50重量%から90重量%のスチレンを含む、請求項1から3のいずれか1項に記載のフィルム。

【請求項7】

第1および第2外層が、各々、エチレン / - オレフィンコポリマー、エチレン / 酢酸ビニルコポリマー、エチレン / アクリル酸アルキルコポリマー、エチレン / アクリル酸コポリマー、イオノマー、プロピレンポリマーおよびコポリマー、ブチレンポリマーおよびコポリマー、多成分エチレン / - オレフィン相互侵入網目樹脂、プロピレンホモポリマーとプロピレン / エチレンコポリマーとの混合物、高密度ポリエチレン、高密度ポリエチレンとエチレン / 酢酸ビニルコポリマーとの混合物、および高密度ポリエチレンと低密度ポリエチレンとの混合物から選択されるオレフィンポリマーを含む、請求項2又は3に記載のフィルム。